

日本初のワールド・トレイル会議

鳥取県で2016年開催

ウォーキングやトレイル関係者が集まる世界大会「第6回ワールド・トレイル・カンファレンス(WTC)」が、2016年に鳥取県での開催が内定したことが19日、分かった。県内でウォーキングイベント「SUN-IN 未来ウォーク」などを主催するNPO法人未来(倉吉市、岸田寛昭理事長)が誘致を進め、9月のワールド・トレイル・ネットワーク会議で承認された。

来年1月に韓国の済州島で開かれるWTCで正式決定する予定。日本国内では初開催となり、国内外から多くの人を呼んで、経済活性化や地域活性化、鳥取県を世界に発信する好機につなげる。大会は16年秋ごろに数日間を予定し、約4

千人の参加者を見込む。県内の自然や街並みを満喫できるトレイルを設定してウォーキング大会を開き、ノルディックの効果などの講演会や学術大会といった関連イベントを計画し、大会を盛り上げていく。

WTC開催前年の15年には、第2回アジア・トレイル・フェスティバルの開催地も県内に決定しており、WTCのプレ大会とする。誘致したNPO法人未来の岸田理事長は「ウォーキングリゾート構想の姿勢が、世界からもアジアからも評価された結果。世界大会は鳥取県にとってチャンス。大山やジオパークなど魅力ある場所をPRしたい」と話している。

ワールド・トレイル・カンファレンス(WTC) Trail(=トレイル、舗装されていない道)を資源として保護・活用する団体が世界23カ国約50団体が集まって、道の保護・保全や健康づくり、観光面への活用などを話し合う国際会議。会議の前後に併せてウ

ミニクリップ

ウォーキング大会や学術大会、著名人による講演会などが開かれる。韓国の済州オルレが韓国の済州道庁や韓国観光公社などの支援を受け、2010年からこれまでに韓国・済州島で計4回開催(来年1月も予定)。16年は初の国外開催となる。